

若手・女性研究者を主な対象に、国際的影響力の高い学術誌(WoS/Scopus収録誌)への英語論文の投稿を支援することにより、研究成果の国際的発信力を一層高め、大阪大学の研究力の強化を促進する。

本事業のポイント

英語論文投稿・掲載時の費用面でのサポートの実施

- 校正支援
- OA(オープンアクセス)支援

若手・女性研究者への支援強化
若手・女性研究者への支援件数の優遇

柔軟な受付体制

研究者が利用しやすいように、毎月受付期間を設定

専門性の高い支援

博士号をもつURAとアウトリーチ専門家によるチーム構成で、適切なアドバイスが可能

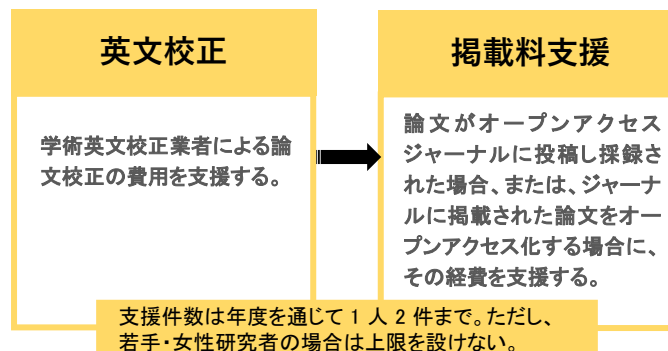
取組実績と得られた成果

平成26年度6月から本プログラムを開始して以来、研究者の声を反映させ、支援対象の拡大、支援内容の追加、支援チームの増員、附属図書館を始めとする関係部局との連携によってプログラムを充実してきた。令和元年度にはOA(オープンアクセス)支援を開始し、合計 113 件のOA支援を実施した。その他、令和3年度までに合計 591 件の校正支援と、合計 423 件のOA支援を実施した。

令和3年度より、電子ジャーナルに関する「転換契約」に関する検討を本格化し、本プログラムによる支援と「転換契約」による出版との整合性の検討を進める等、研究情報の発信に関する国内外のトレンドに呼応した支援を実施した。

本事業の目指すイメージ

研究者が真に必要とする支援を効率よく提供 **費用支援**



- ・研究成果の国際的発信力を一層高める
- ・質のよいジャーナルへの投稿を支援する
- ・国際共著論文の出版促進につなげる
- ・本学の研究力の強化につなげる
- ・国際共同研究を後押しする

採択者の声

校正支援: 学内にこのような支援があると英語論文投稿へのハードルがかなり下がるように思います(医学系研究科若手研究者)。論文投稿のモチベーションにつながります。回数制限の緩和があるシステムは、画期的だと思います(工学研究科若手研究者)等

OA支援: 費用が高額なので躊躇するところを支援いただきありがたい。学生の投稿先の選択肢が広がりました(医学系研究科女性研究者)。エンバゴ期間を待たずに出版直後からオープンアクセスできるようになるので発信力がまるで違う(歯学研究科女性研究者)。支援が無ければオープンアクセスにできなかった(理学研究科若手研究者)等